

## 平成25年度後期全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成25年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成25年度後期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の2とおりの方法により実施された。

- a. 全学教育機構の各教員が少なくとも1授業題目について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

### <アンケート質問項目>

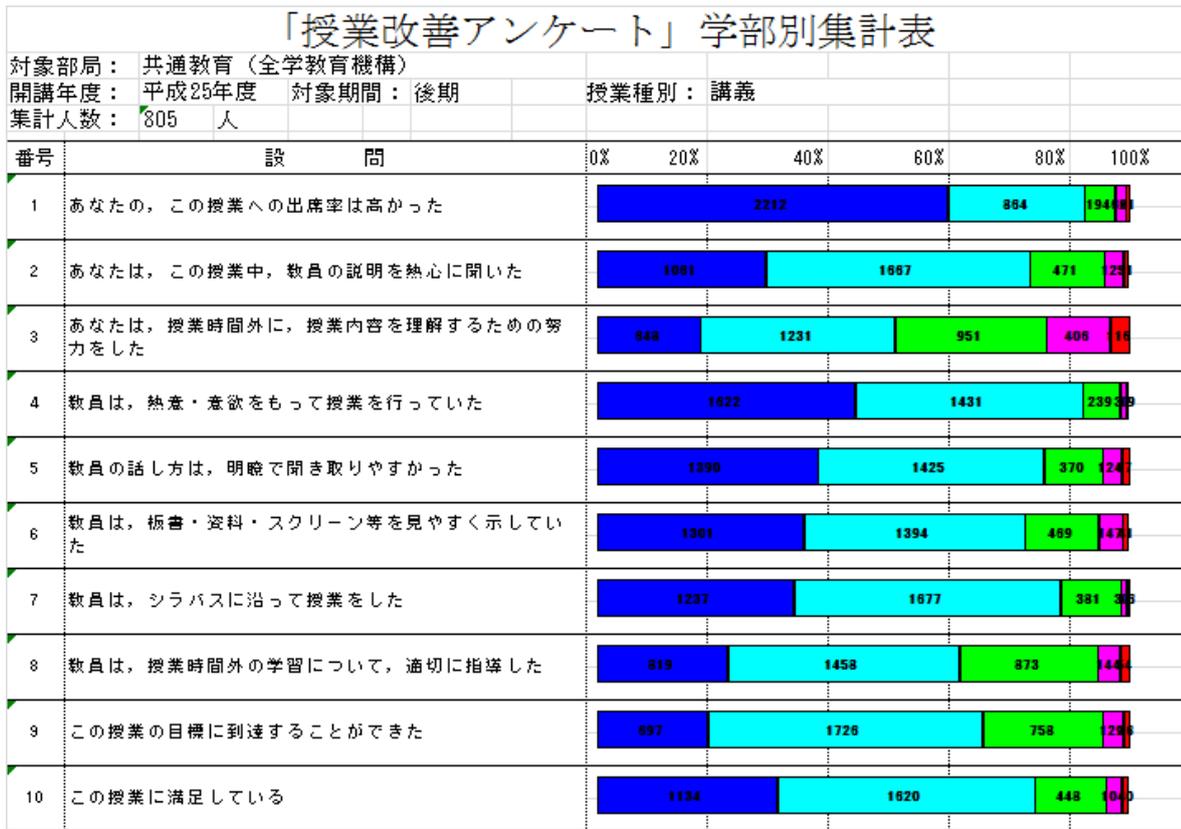
1. あなたの、この授業への出席率は高かった(5択)
2. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた(5択)
3. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした(予習・復習等)(5択)
4. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた(5択)
5. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった(5択)
6. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた(5択)
7. 教員は、シラバスに沿って授業をした(5択)
8. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した(シラバスでの参考文献の提示等)(5択)
9. この授業の目標に到達することができた(5択)
10. この授業に満足している(5択)
11. この授業について、改善すべきと思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
12. この授業について、教員が工夫をしていると思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
13. その他、この授業について、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。（用紙を使ったアンケートの結果についても、ウェブに取込して集計されている。）

### 1. 全体に関する結果

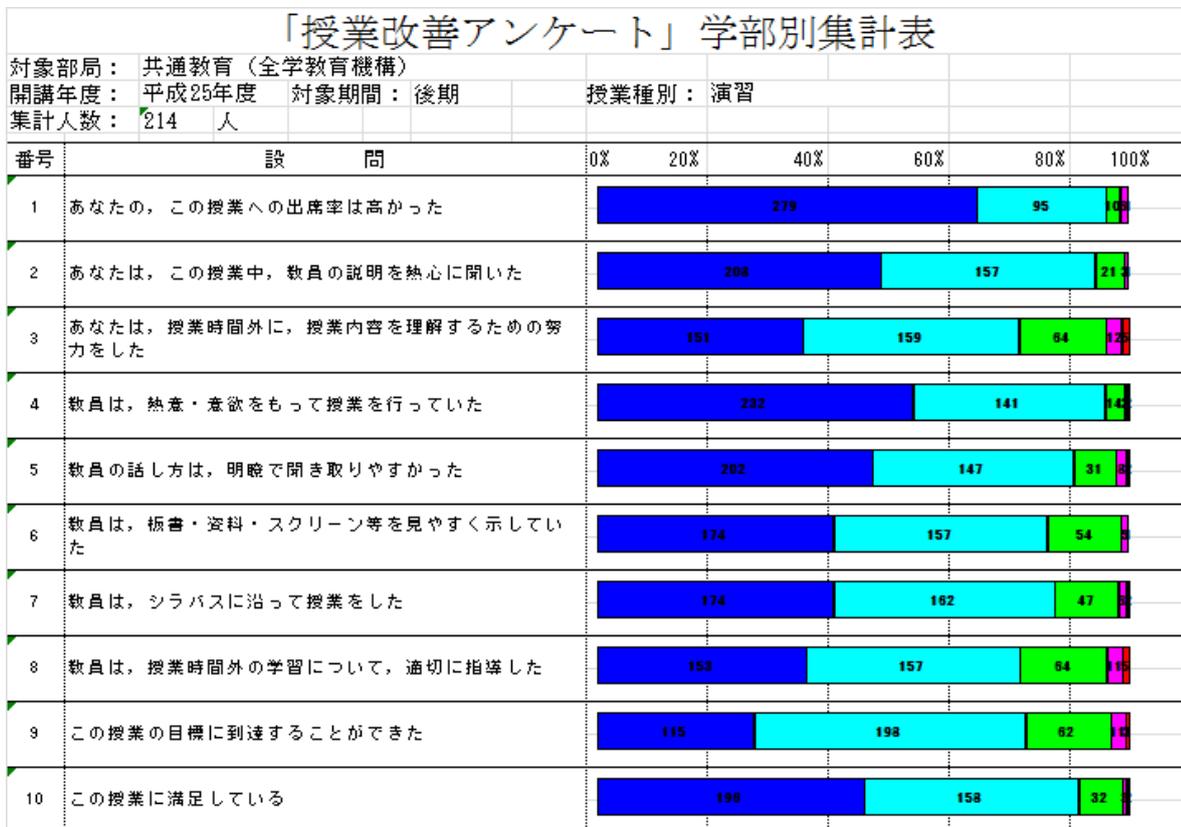
期末アンケートの講義科目、演習科目、外国語科目、の集計結果は、図1～3の通り。それぞれの受講登録者数/回答者数は、12480/3376、1299/391、6795/1772であり、率にして26～30%である。出席率への問①に対する回答では、全科目において4以上であり、前期の調査結果同様、授業に出席するという大学教育を受ける者の基本姿勢を守っている。

図1 【講義科目】



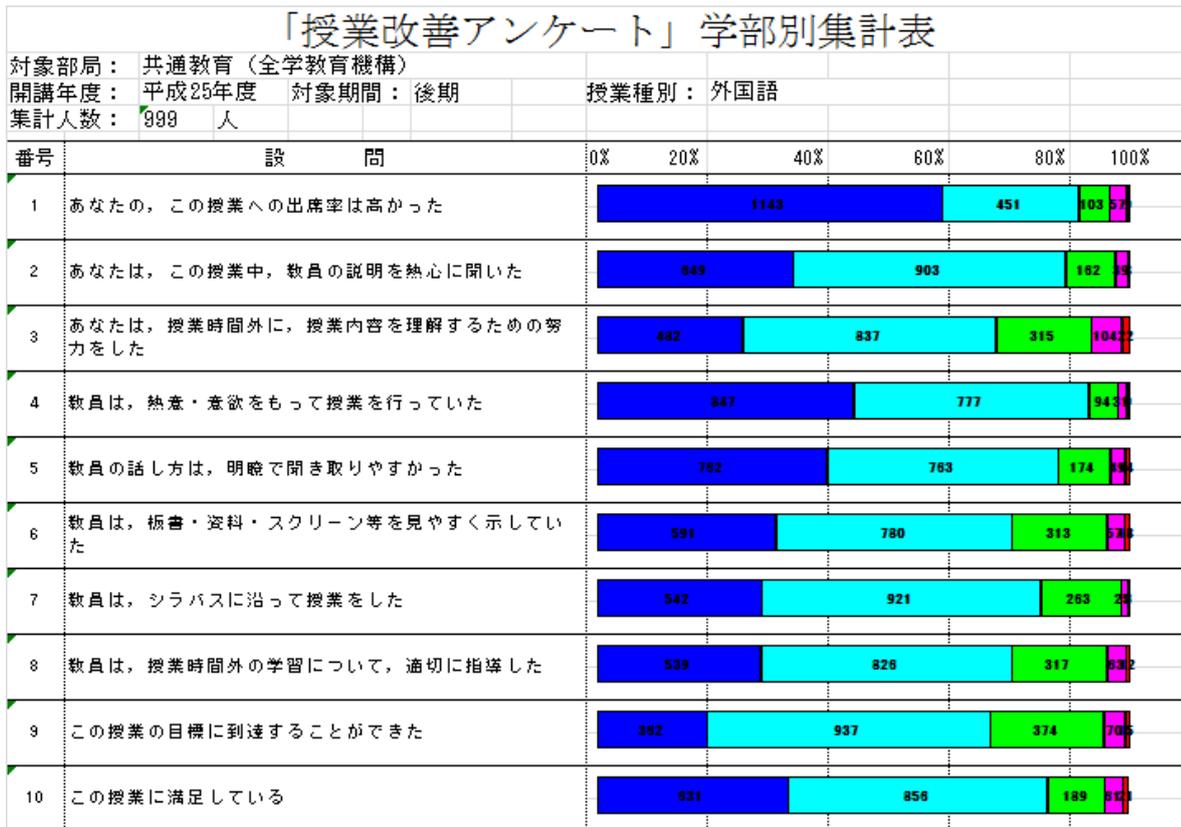
青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図2 【演習科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図3【外国語科目】



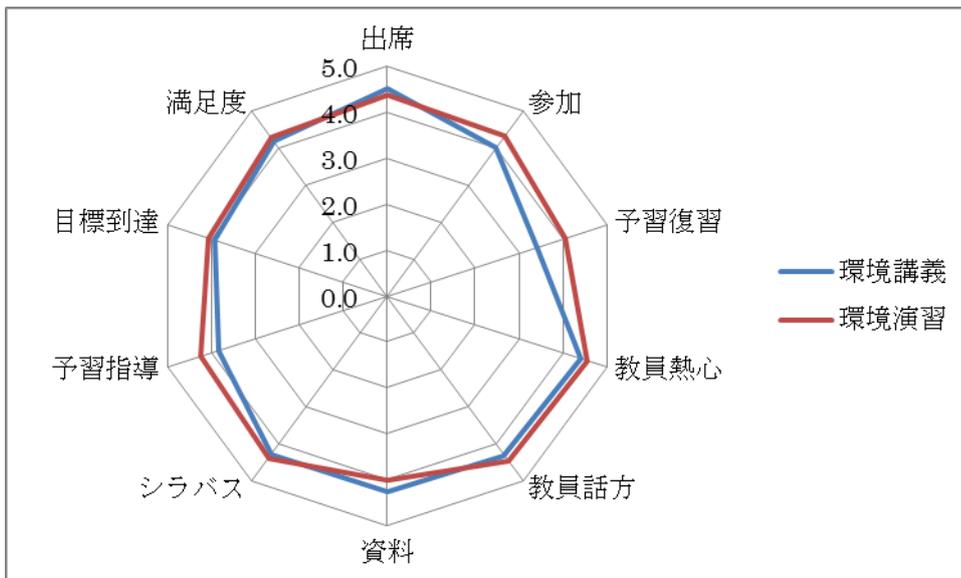
青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

## 2. 教養科目

### [環境科目群]

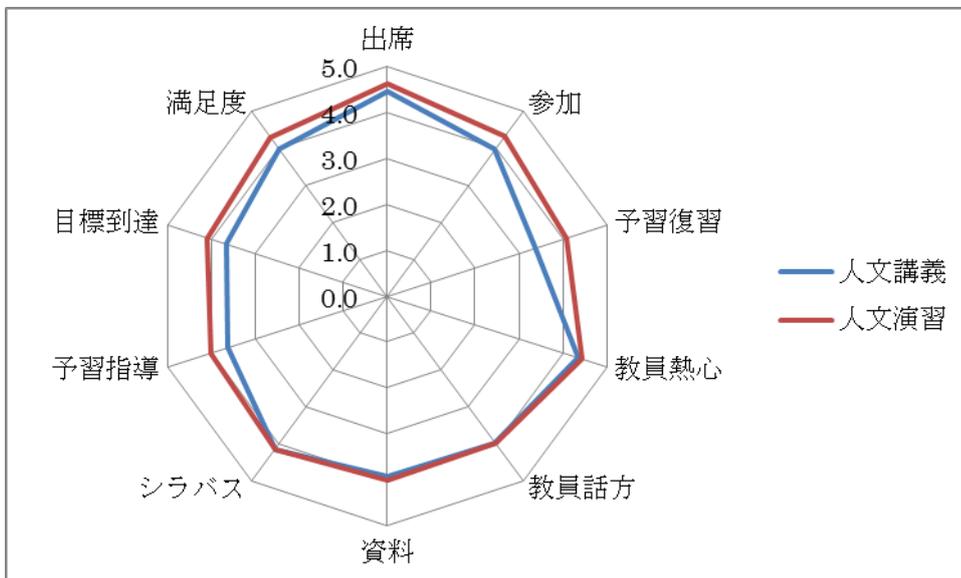
環境科目群では、全般的に演習科目の評価項目において評価ポイントが高い。演習科目では、とくに予習および復習に関する学生の自己評価が高く、演習科目において学習意欲が高いことがうかがわれる。

講義科目においては、授業の受講者数と満足度の値との間には明らかな関連性は認められない。ただ、大人数授業の場合に満足度が高い授業が見受けられ、授業で良い工夫がなされている結果ではないかと推定される。ただし、講義科目において、教員による自宅学習の指導、学生による予習・復習に関するポイントが低く、依然として改善を要する。



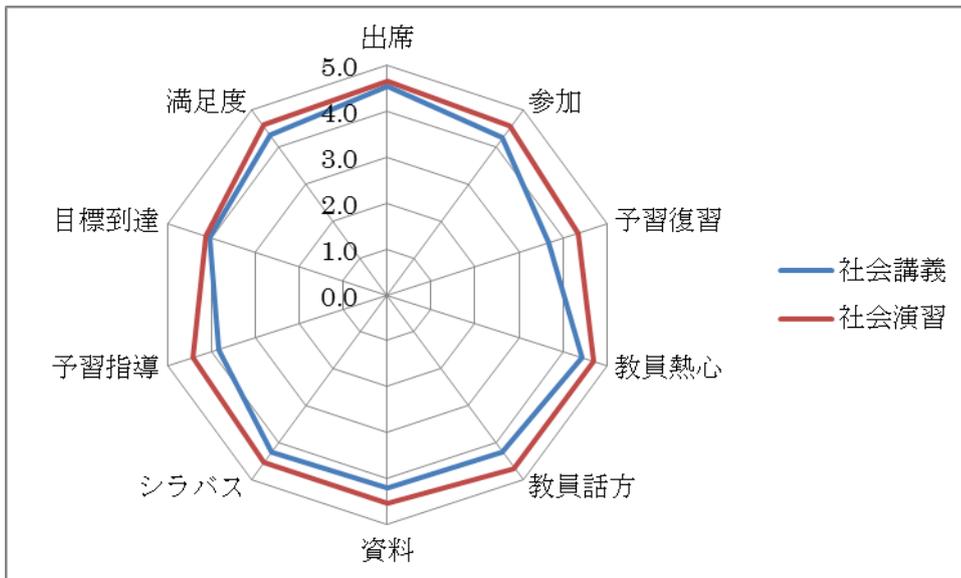
### [人文科目群]

当該科目群における講義科目の総平均値は 4.11 であり、講義全体の総平均値が 3.99 であるのに比して、好調といえる。もっとも、予習復習の 3.3 および予習指導の 3.7 は低調である。この両者の結果には相関関係があるものと推測される。他方で、演習科目の総平均値は 4.35 と高く、演習全体の総平均値 4.29 に比しても高水準である。特筆すべきは、講義科目・演習科目ともに、ここ数年のデータと比較して、その数値は漸増傾向にあることである。各教員の授業改善の努力が実を結び始めている証左といえよう。



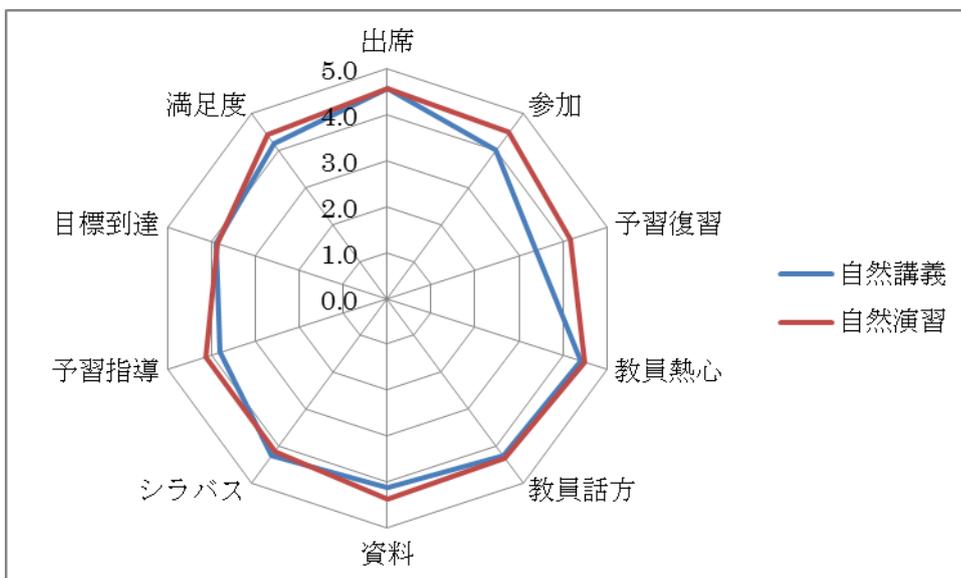
### [社会科目群]

当該科目群における講義科目の総平均値は 4.19 であり、講義全体の総平均値 3.99 に比しても好調といえる。ただし、ほぼ総じて 4.0 以上の評価が得られている中で、予習復習関連の項目が 4.0 に満たないで伸び悩んでいる。他方で、演習科目の総平均値も 4.36 と非常に高く、演習全体の総平均値 4.29 と比しても高水準と評価できる。特筆すべきは、演習科目ではすべての数値が 4.0 を超えていること、予習復習関連の項目でも高い水準を維持していることから、数値上、各教員の授業改善の努力を確認することができる。



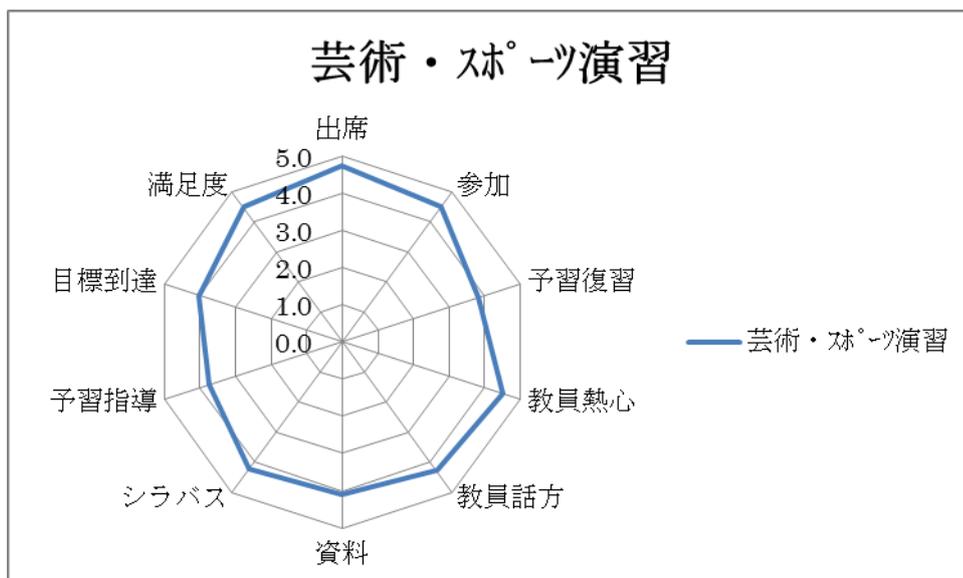
### [自然科学群]

自然科学科目においては、講義科目の評価項目間のポイントの差がやや大きい。とくに、学生の予習復習に関するポイントが低い。教員の熱心さや学生の出席率のポイントが高いことを考えると、授業中の時間外学習の指導に改善の余地があるありそうである。演習科目では、多くの項目において良好な結果となっている。



### [芸術・スポーツ群]

芸術・スポーツ群には、大きく性格が異なる2種類の授業が含まれているが、いずれの授業のグループにおいても平均的なポイントの値は高い。満足度のポイントの高さは顕著であり、学生の出席や参加の熱心さに関するポイントも高い。教員の努力がうかがわれる結果となっている。ただし、学生の予習・復習の実施、教員による時間外学習の指導に関してのポイントは相対的に低い結果となっている。



### 3. 外国語科目

#### [英語]

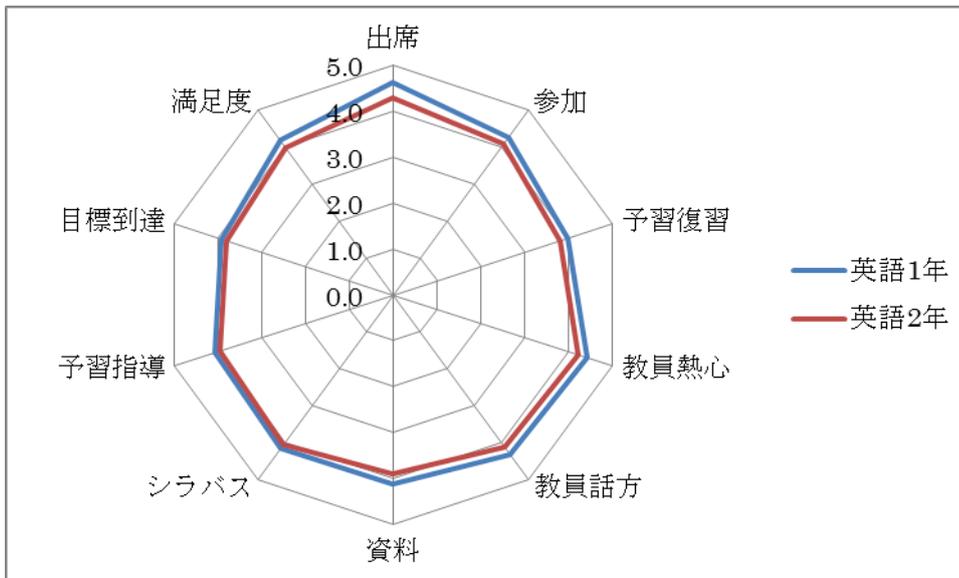
##### 英語 1 年次総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.6)・熱心度(4.2))は非常に高い。そして 2. 英語 1 年次担当教員に対する評価および講義への評価も高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.4))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.3))・資料の見やすさ(4.1))。なお、昨年度の同時期の結果に比べ、僅かではあるが、ほぼすべての項目において向上している。その結果、英語科目(英語 1 年次)に対して、受講者は概ね満足しているようである(満足度(4.2))。

その一方で、満足度に比して、授業時間外の学習(3.9)と目標到達度が若干低い(3.9)。受講者は英語科目について授業自体には意欲的に取り組み、満足度も高いものの、授業時間外の学習の不足もあって掲げている目標に十分に到達しきれていないことが窺い知れる。

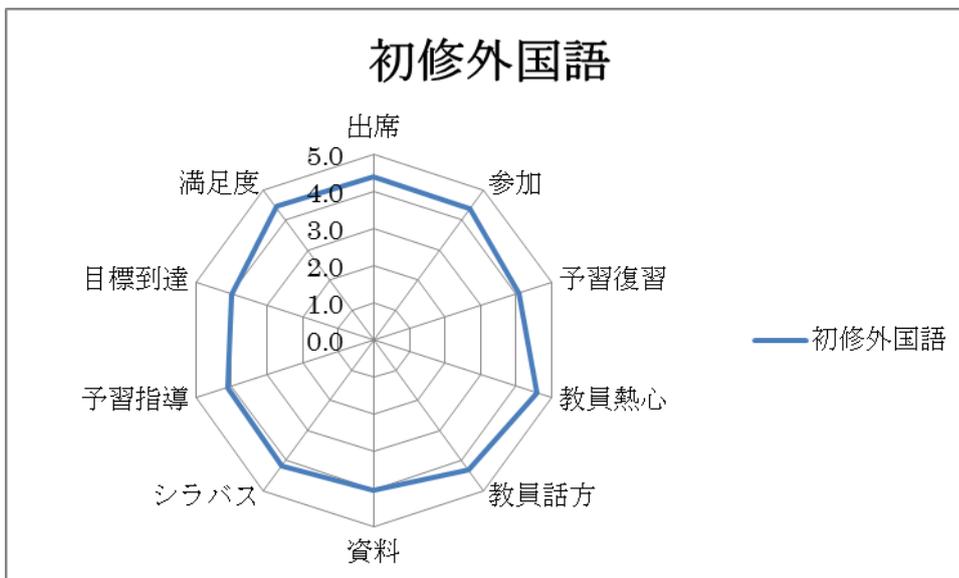
##### 英語 2 年次総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.3)・熱心度(4.0))は高い。そして 2. 英語 2 年次担当教員に対する評価および講義への評価も英語 1 年次程ではないが高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.2))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.0))。しかし、英語科目(英語 2 年次)に対しての満足度は、同時期の昨年度の結果(昨年度：満足度 3.7)よりも向上はしているものの、やや低い(満足度(3.9))。



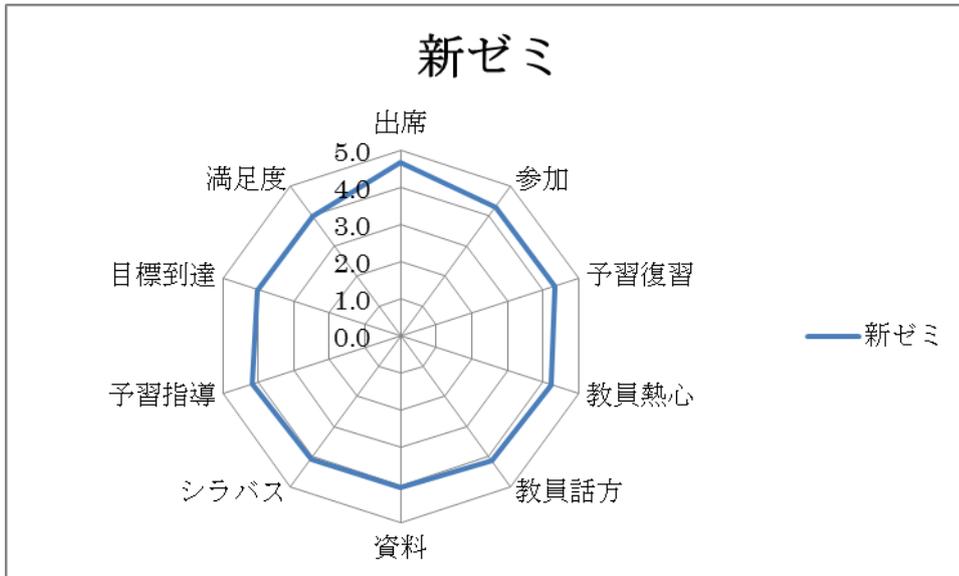
### [初修外国語]

「出席率」①4.4 は平均並みで特に問題のある数字ではない。「授業への参加」②4.4 も良い数字であると言えるであろう。「予習復習」③4.1は、低い数字ではないが、外国語という予習復習が毎授業必須要素である科目にしては、少し低いと言える。教員への評価項目では、大体4以上で、良好と言える。⑨に関しては、四捨五入前の数字が3代で少し低めである。ゼロスタートの外国語学習の目標をどこに設定するかは、授業それぞれ、受講生それぞれの個性が反映される場所であると思われるが、⑨の数字が低めであるというのは目標設定が少し高めになる傾向にあることを示しているのではないだろうか。



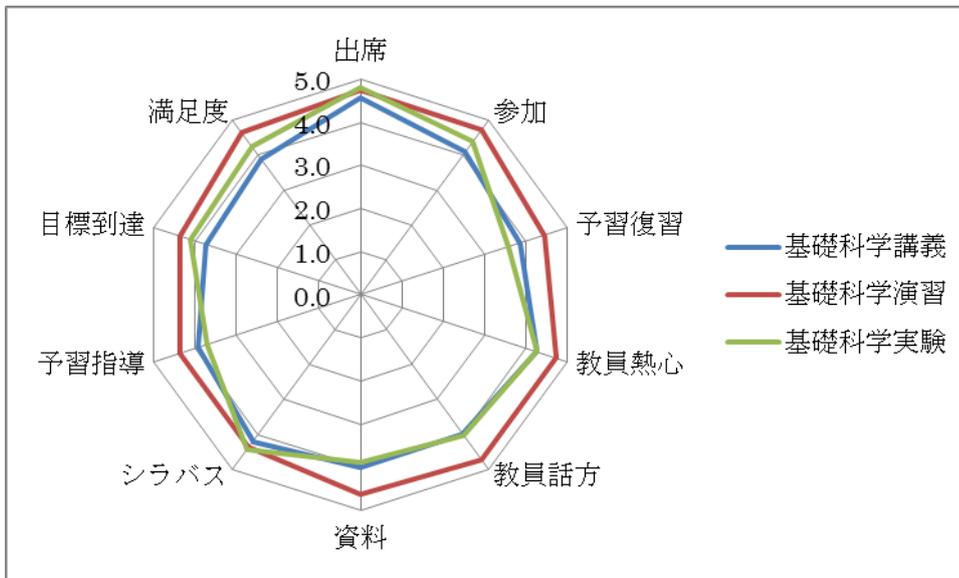
#### 4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目は、学部、学科、学系などにより、それぞれ独自の内容、形態で実施されるものであり、これを演習型の授業の中に入れて他と単純に比較することは必ずしも適当ではないかもしれないが、演習型の授業の中で見た場合には、「教員熱心」、「教員話方」、「満足度」等、幾つかの項目が低く評価されている。学生の「予習復習」や「出席」は高めに評価されており、学生たちは熱心に取り組んでいるものと思われる。



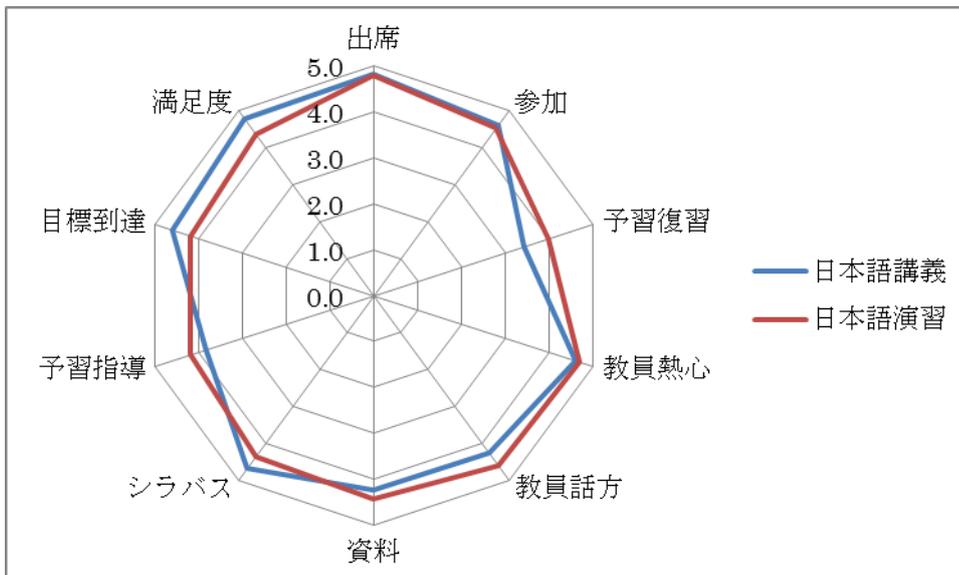
#### 5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義は、講義の全体平均と比べると「予習復習」が高い値を示している。演習は、サンプル数が少ないものの、該当の授業（微分積分学Ⅱ演習）では懇切丁寧な指導が行われていることが窺える。実験の授業は、他に比較する授業がないが、学生がよく出席し、授業がシラバスに沿って進められているようすが窺える一方、「予習復習」は低く評価されている。



## 6. 日本語・日本事情科目

大体 4 以上の数字であるが、講義科目の予習復習③及びその指導⑧が 3 台で低い。満足度⑩は、日本語 4.3、日本事情 4.8 と高い数字である。ただし、受講生の多くが信州大正規学生ではなくて、交換留学生であることに注意するべきであろう。



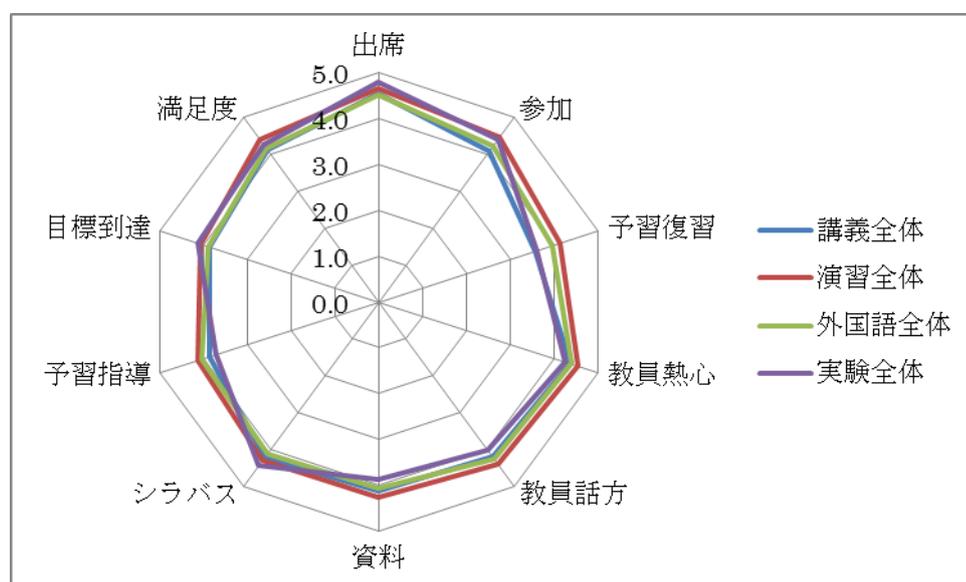
## 7. まとめ

以上、今後の授業計画を進めていく参考になるように、各科目ごとにアンケート結果の数字に対する考察を簡単に行った。特に講義科目における予習復習をうながす工夫が必要であることが上のグラフから読み取れる。これは特定科目に限定しない全授業における授業時間外学習の促進という課題への取り組みと同様の問題であると思われる。

最後に、部門から提出された改善計画報告の中から環境教育部門と英語教育部門の事例を紹介する。

環境マインド教育部門では、同部門で開講されている授業間の受講生数のばらつき解消に、受講人数制限やTAの配置などの策が検討されている。

英語教育部門からはいくつもの事例が報告された。小テストは語彙力の向上や読解力養成の面で有益であったというアンケート回答があった。グループワークによる課題への取り組みで出てきた問題点を、さらに次のグループワークで改善していった。グループワークの意義をさらに理解させるための説明を後期授業開始時に行う。映像教材への評価が高かったが、引き続き工夫をしていく。課外学習の促進にもつながる補助教材の工夫、変化に富んだ授業内容、音声教材、DVD、コンピュータを利用するのより多角的で効率的な学習展開の工夫などを行う、とともに好評であった異文化理解やコミュニケーションの仕組みなどについての話などを引き続き取り上げる。



### 共通教育授業改善アンケート(2013後期中間) 平均値一覧

集計区分		受講登録者数 (人)	回答者数 (人)	回答率	設問1 学生の出席率	設問2 学生の熱心度	設問3 学生の予習・ 復習	設問4 教員の熱心度	設問5 教員の話し方	設問6 資料の見易さ	設問7 ノウハウに 沿った授業	設問8 予習・復習 指導
環境科学群	講義	1951	492	25%	4.7	4.0	3.3	4.3	4.2	4.2	4.2	3.7
	演習	81	34	42%	4.4	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	4.2	4.2
人文科学群	講義	1342	392	29%	4.6	4.1	3.3	4.3	3.9	3.9	4.1	3.7
	演習	136	42	31%	4.7	4.4	4.2	4.4	4.4	4.2	4.2	4.3
社会科学群	講義	2434	856	35%	4.7	4.2	3.5	4.5	4.3	4.2	4.3	3.8
	演習	173	70	40%	4.7	4.5	4.2	4.5	4.4	4.3	4.1	4.2
自然科学群	講義	2489	878	35%	4.7	4.1	3.4	4.4	4.2	4.0	4.2	3.7
	演習	183	78	43%	4.6	4.5	4.0	4.4	4.2	4.2	4.2	4.0
芸術・スポーツ群	演習	324	106	33%	4.7	4.6	3.6	4.6	4.4	3.9	4.3	3.8
外国語	英語1年	4120	1199	29%	4.7	4.3	4.0	4.4	4.3	4.1	4.1	4.0
	英語2年	1990	209	11%	4.7	4.2	3.8	4.3	4.0	3.8	3.9	3.9
	初修外国語	638	186	29%	4.7	4.3	4.1	4.4	4.1	3.8	4.1	4.0
新ゼミ	演習	201	54	27%	4.7	4.5	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1
日本語	講義	59	8	14%	4.8	4.5	3.6	4.6	4.3	4.1	4.5	3.6
	演習	131	22	17%	4.8	4.5	4.0	4.6	4.6	4.5	4.2	4.0
基礎科学科目	講義	4007	966	24%	4.7	4.2	3.9	4.2	3.8	3.9	4.1	3.9
	演習	44	15	34%	4.8	4.8	4.5	4.7	4.4	4.3	4.1	4.1
	実験	279	52	19%	4.9	4.5	4.0	4.2	4.0	4.0	4.5	3.9
講義全体		12666	3885	31%	4.7	4.1	3.5	4.4	4.1	4.1	4.2	3.8
演習全体		1273	421	33%	4.7	4.5	4.0	4.4	4.3	4.1	4.2	4.1
外国語全体		6748	1594	24%	4.7	4.3	4.0	4.4	4.2	4.0	4.1	4.0
実験全体		279	52	19%	4.9	4.5	4.0	4.2	4.0	4.0	4.5	3.9

※講義全体には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。

### 共通教育授業改善アンケート(2013後期期末) 平均値一覧

集計区分		受講登録者数 (人)	回答者数 (人)	回答率	設問1 学生の出席率	設問2 学生の熱心度	設問3 学生の 予習復習	設問4 教員の熱心度	設問5 教員の話し方	設問6 資料の見易さ	設問7 ノウハウに 沿った授業	設問8 予習・復習 指導	設問9 目標到達度	設問10 満足度
環境科学群	講義	1952	445	23%	4.5	4.0	3.4	4.4	4.3	4.3	4.3	3.9	3.9	4.2
	演習	90	37	41%	4.4	4.3	4.1	4.6	4.5	4.0	4.4	4.2	4.1	4.3
人文科学群	講義	1342	294	22%	4.5	4.0	3.4	4.3	4.0	3.9	4.1	3.6	3.7	4.0
	演習	142	41	29%	4.6	4.3	4.1	4.4	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.3
社会科学群	講義	2390	595	25%	4.6	4.2	3.7	4.5	4.3	4.2	4.3	3.8	4.1	4.3
	演習	175	75	43%	4.7	4.5	4.4	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	4.1	4.6
自然科学群	講義	2487	914	37%	4.6	4.0	3.4	4.4	4.3	4.1	4.2	3.8	3.9	4.2
	演習	183	69	38%	4.6	4.5	4.2	4.5	4.3	4.4	4.1	4.1	3.9	4.4
芸術・スポーツ群	演習	324	74	23%	4.7	4.5	3.8	4.5	4.3	4.1	4.2	3.8	4.0	4.5
外国語	英語1年	4057	1082	27%	4.6	4.2	4.0	4.4	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2
	英語2年	2025	481	24%	4.3	4.1	3.8	4.2	4.1	3.9	4.0	3.9	3.8	4.0
	初修外国語	713	209	29%	4.4	4.4	4.1	4.6	4.3	4.0	4.2	4.1	4.0	4.4
新ゼミ	演習	189	41	22%	4.7	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0
日本語	講義	59	12	20%	4.8	4.6	3.4	4.6	4.3	4.3	4.7	3.8	4.6	4.8
	演習	152	43	28%	4.8	4.5	4.0	4.7	4.6	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3
基礎科学科目	講義	4008	930	23%	4.6	4.1	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	3.9	3.8	3.9
	演習	44	11	25%	4.7	4.7	4.5	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.4	4.6
	実験	279	90	32%	4.8	4.4	3.6	4.3	4.0	3.9	4.4	3.7	4.1	4.2
講義全体		12480	3376	27%	4.5	4.1	3.6	4.4	4.2	4.1	4.2	3.8	3.9	4.1
演習全体		1299	391	30%	4.6	4.5	4.1	4.5	4.4	4.3	4.3	4.1	4.1	4.4
外国語全体		6795	1772	26%	4.5	4.2	3.9	4.4	4.3	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1
実験全体		279	90	32%	4.8	4.4	3.6	4.3	4.0	3.9	4.4	3.7	4.1	4.2

※講義全体には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。